

マタイの福音書 第6章26節

「空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。」

普段何気なく見上げる空に飛ぶ鳥。この様子を見たことのない者は世界に一人もいないのではないだろうか。たとえ何か不自由なことがあって実際見ることが出来なくても、鳥の鳴き声は聞くことがあるだろう。たとえ見ることがかなわず、聞くことがかなわなくても、触れることはできるだろう。ただ、ここでは見なさいといっているから、見ている。

それでも、同じ思いで見ているとは限らない。ある者はただ見ている。ある者は可愛いと思いながら見る。また、ある者はこれからどこへ飛んでゆくのか考えて見る。ある者は鳴き声に聞き惚れながら見る。そして、ある者は、見なさいと勧められても見ないかもしれない。同じ鳥を見、鳴き声を聞いたとしてもみな異なる。

ましてや、鳥を見て天の父が養っておられることを見、さらに見ている者たちを、もっとすぐれたものとしてくださり、養ってくださることを知る者は少ない。